

中 長 期 計 画

平成 31 年 3 月
公益社団法人
仲善広域シルバー人材センター



もくじ

I 計画策定の背景と目的	1
計画策定の背景	
計画策定の目的	
計画の期間	
II 平成 31 年度～平成 40 年度 基本目標	2
1. センターの安定的運営のための計画	
2. 会員と就業機会の拡大・発展のための計画	
3. 活力ある組織づくりのための計画	
III 平成 31 年度～仲善広域シルバー人材センター中長期計画目標 . .	3
IV シルバー人材センター事業の現状と課題	4
1. シルバー人材センター事業の現状	
(1) 会員の状況	4
(2) 事業実績	5
(3) 補助事業	6
(4) 独自事業	6
(5) ボランティア活動	7
(6) 会員交流のための同好会活動	7
(7) 事故発生状況	7
2. シルバー人材センター事業の課題と実施計画	8
(1) 会員の確保・拡大	8
(2) 就業機会の確保	9
(3) 安全・適正就業の確保	10
(4) 普及啓発の推進	11
(5) 子育て、高齢者支援事業の推進	12
(6) 事務局体制の充実・強化	13
V 参考資料	14
仲善広域各市町総人口推移	14
60 歳以上人口推移	14
60 歳・65 歳以上人口比グラフ	14
自治体人口推移から見た会員動向グラフ	15
全シ協「第 2 次会員 100 万人達成計画」による達成目標会員数	15
過去 5 年間事業実績推移	
請負委任	15
派遣	16
事故発生状況	16

はじめに

公益社団法人仲善広域シルバー人材センターは、平成 14 年度香川県シルバー人材センター連合会において策定された「中長期基本計画～シルバー人材センター事業の発展を目指して～」の基本指針に基づき、現在まで事業展開をおこなってまいりました。

直近では、平成 23 年度からの 10 年間の「第 2 次中長期基本計画」によるさらなる発展と充実すべき時代背景に沿った課題を克服していかなければなりません。

平成 32 年度の圏域の 65 歳以上の高齢者人口が 2 万人を超えるとともに、平成 22 年度 6 万 3 千人の人口が、平成 32 年度には 5 万 7 千人と長期の人口減少の過程に入っています。また、少子化が進み、労働人口が減少していく中で、高齢者が意欲と能力のある限り年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現が課題となっています。

こうした状況のもと、仲善広域シルバー人材センターでは、地域における就業機会の確保・提供と機能の充実を図り、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務に係る就業を通じて、生きがいの充実及び社会参加の推進によって、地域とのつながりができる社会を目指して事業を推進しています。

平成 32 年度に最終年度を迎える「第 2 次中長期基本計画」、平成 26 年度に策定された全国シルバー人材センター事業協会「会員 100 万人達成計画」、平成 30 年度からの「第 2 次会員 100 万人達成計画」それぞれの目標未達成の分析と評価を行い、仲善広域シルバー人材センターとしての事業拡大と会員拡大、それに伴う安全就業指針など就業環境の見直しを目的に独自に計画を策定いたしました。

今回策定します基本計画は、それらの基本的な指針をもとに積極的な事業展開を図り、高齢者の生きがいづくりと地域社会の振興を目指して事業運営をおこなってまいります。

この、基本計画策定にあたり、各委員会委員の皆様のご協力に対しまして厚くお礼を申し上げますとともに、関係各位の特段のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成 31 年 3 月

公益社団法人 仲善広域シルバー人材センター
理事長 平 岡 政 典

I 計画策定の背景と目的

計画策定の背景

全国的に少子高齢化が進んでおり、国立社会保障・人口問題研究所の「都道府県別将来推計人口」の65歳以上高齢化率の推移をみると、平成27年には26.7%であったものが、10年後の平成37年には30.1%に達するものと見込まれている。

仲善広域シルバー人材センター圏域においては、人口は減少し、高齢化率は1市2町ともに全国平均を大きく上回り、急速に高齢化が進んでいる。

そういった中、香川県シルバー人材センター連合会において策定された「中長期基本計画～シルバー人材センター事業の発展を目指して～」直近では、平成23年度からの10年間の「第2次中長期基本計画」によるさらなる発展と充実すべき時代背景に沿った課題を克服して、地域における就業機会の確保・提供と機能の充実を図り、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務に係る就業を通じて、生きがいの充実及び社会参加の推進によって、地域とのつながりができる社会を目指して事業を推進している。

さらに、全国的な取り組みである平成30年度からの「第2次会員100万人達成計画」を実践し、それぞれの目標未達成の分析と評価を行い、仲善広域シルバー人材センターとしての事業拡大と会員拡大、それに伴う安全就業指針など就業環境の見直しを目途に進めていく上で、独自に地域性を生かした「中長期基本計画」を策定し、目標未達成の分析と評価を行い、仲善広域シルバー人材センターとしての事業拡大と会員拡大、それに伴う安全就業指針など就業環境の見直しを目途に進めていくこととなった。

計画策定の目的

香川県シルバー人材センター連合会において策定された平成23年度からの10年間の「第2次中長期基本計画」による取り組みにより、仲善広域シルバー人材センターでは、全国的レベルの運営と、事業運営において各構成自治体との連携を維持してきたところである。しかし、確実に圏域人口の減少と、高齢化率の増加が進んでいる。

定年年齢の延長、60歳年齢の再雇用制度の普及により、会員確保や就業機会の開拓が、より厳しい状況であることを認識して事業運営を行なうこと、高齢者と言われる年齢層のうち、75歳以上人口が平成42年度をピークに増加傾向にあることから、生きがい・就業機会の増大及び活力ある地域社会づくりへの貢献の実現を図るため、独自計画を策定することにより、仲善広域シルバー人材センター構成の自治体と連携し、事業拡充と機能強化を目的とする。

計画の期間

本中期基本計画は、平成31年度を初年度とする平成35年度までの5か年とする。

ただし、長期計画として、全シ協・県シ連の策定する計画を遂行し、変更が生じた場合に随時見直し、10年をめどに進めていく。

Ⅱ 平成 31 年度～平成 40 年度 基本目標

(2019) (2028)

基本構想で設定した将来目標を、総合的に推進するために、次の事項を重点目標として基本計画を策定します。

1. センターの安定的運営のための計画

地域社会に貢献するシルバー事業として、未来につなぐ健全なセンター運営を目指します。

2. 会員と就業機会の拡大・発展のための計画

シルバー事業の根幹である会員増と就業拡大により、さらなるセンターの発展を目指します。

3. 活力ある組織づくりのための計画

顧客・会員の多様な要望に対応しうる組織の充実を目指します。



「善通寺市五岳の里」市民集いの丘公園 植栽ボランティア活動風景

Ⅲ 平成31年度～仲善広域シルバー人材センター中長期計画目標

期 間

- 中期計画 平成31年(2019)～35年(2023) 5か年
長期計画 ～平成40年(2028) 10か年
- 上部計画に従い、期間中変更の必要があれば見直す

会 員 数

- 全シ協「第2次会員100万人達成計画」における会員獲得目標は、平成35年度1,432人
- 仲善広域シルバー人材センター構成自治体のそれぞれの人口推移、高齢化推移を分析し、計画期間10か年で、平成40年度1,200人確保が目標



粗 入 会 率

- 平成32年度80万人獲得目標の全国粗入会率は、1.9%、平成36年度100万人達成全国目標は、2.3%であり、仲善広域シルバー人材センター実績粗入会率とは大きく乖離している
- 平成42年度の75歳以上高齢者人口のピーク以降、減少に転じることから、従来の実績にかかわらず、今後、会員獲得の取組の転換は必要とする

事 業

- 広報媒体、報道機関への積極的な広報活動
- 従来型のシルバー事業の住民側からのイメージの転換
- 請負・委任から派遣、職業紹介事業への拡大
- 女性会員の増加に向けた、センター事業の新規開拓と同好会、ボランティア活動の推進
- 公共機関からの高齢者施策に関連した事業の共働と受注拡大

安 全 就 業

- 安全・適正就業委員会の組織的な取り組み強化
- 会員の事故発生状況と検証事案を適時検証し、再発防止策の検討と啓発・指導の推進
- 安全パトロール等の取り組み強化と安全保護具の着用の徹底
- 請負・委任契約になじまない就業や不適切な就業について、発注者への派遣事業・職業紹介事業への切り替えを推進する
- 長期継続就業会員の交替など適正就業基準を遵守し、未就業会員については状況に適した就業先を紹介して就業機会の均等化を図る

Ⅳ シルバー人材センター事業の現状と課題

1. シルバー人材センター事業の現状

(1) 会員の状況

① 会員数

平成 29 年度末現在の会員数は、1,080 人（男性 663 人、女性 417 人）である。前年同期と比べ、18 人の増となっている。

地区別会員数

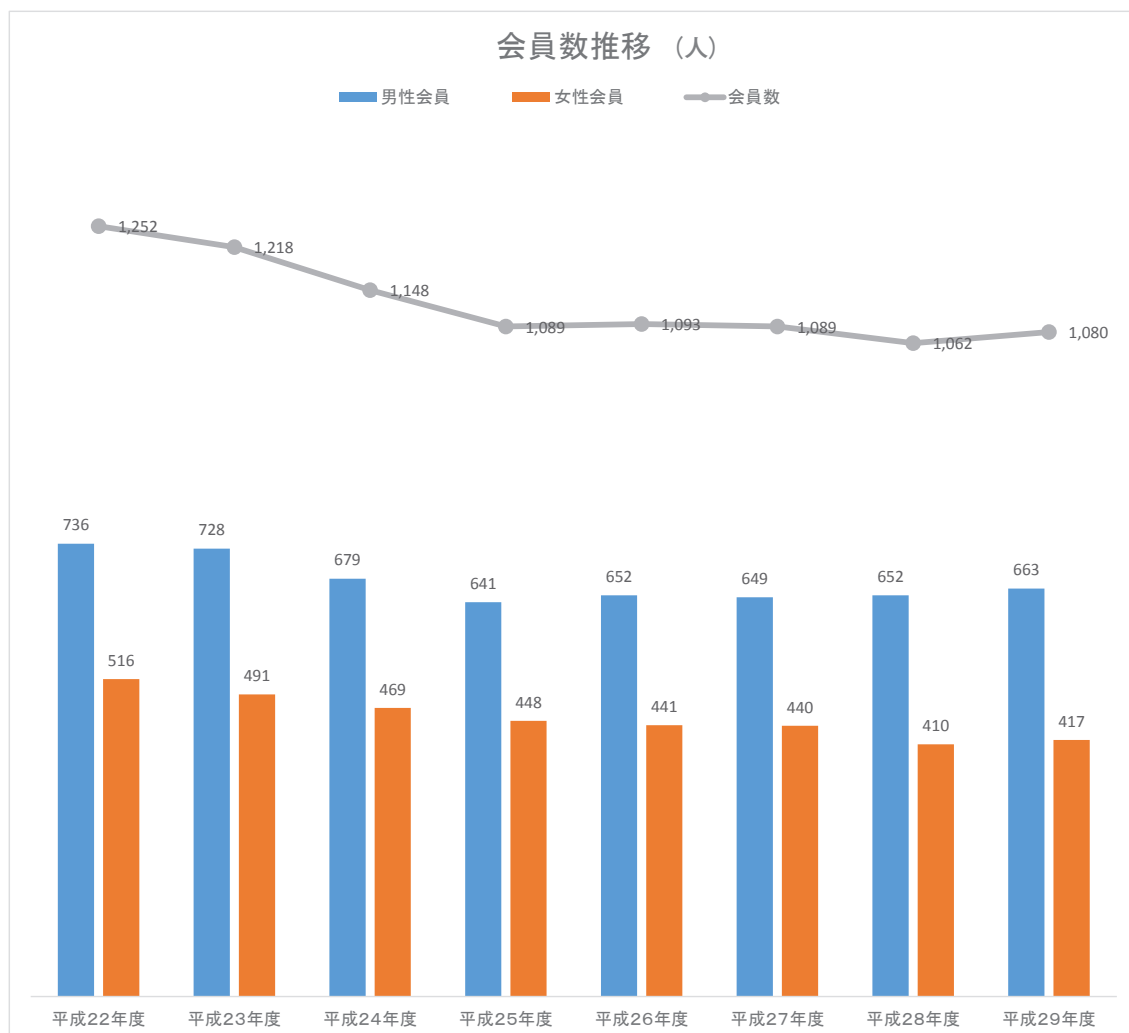
単位：人

	善通寺	まんのう	琴平	平成 30 年 3 月末現在
男	316	244	103	663
女	219	124	74	417
計	535	368	177	1,080

男女別年齢構成

単位：人

	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80 歳以上	計	比率 (%)
男	40	204	230	126	63	663	61.4
女	22	131	130	96	38	417	38.6
計	62	335	360	222	101	1080	100.0
比率 (%)	5.7	31.0	33.3	20.6	9.4	100.0	—

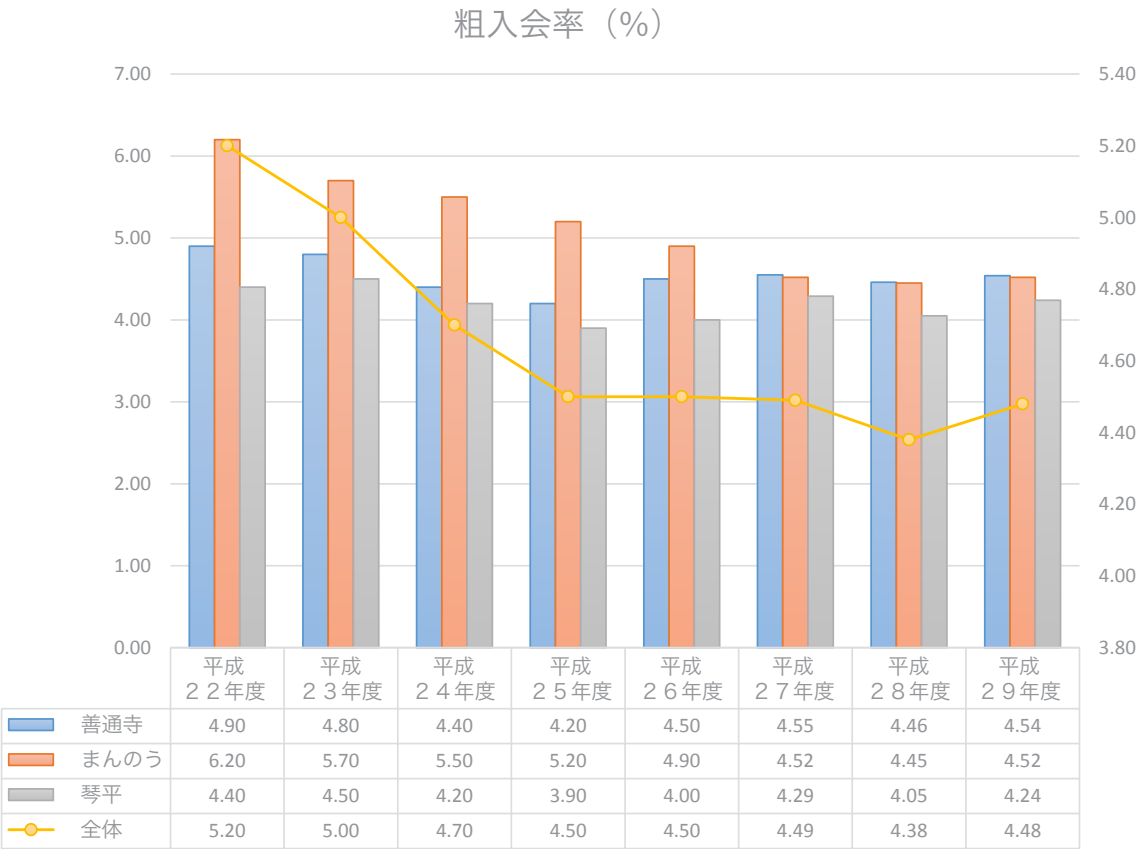


② 粗入会率

平成 29 年度末現在の粗入会率は、4.5%（男性 6.3%、女性 3.1%）である。全国平均 1.7%、香川県平均 2.0%と比べ、それぞれ 2.8%、2.5%上回っている。

平成 30 年 3 月 31 日現在（住民基本台帳）

	総人口（人）			60 歳以上人口（人）			高齢化率（%）	会員数	粗入会率（%）
	男	女	計	男	女	計			
善通寺市	16,102	16,308	32,410	5,155	6,632	11,787	36.37	535	4.54
まんのう町	9,058	9,776	18,834	3,589	4,547	8,136	43.20	368	4.52
琴平町	4,302	4,907	9,209	1,741	2,430	4,171	45.29	177	4.24
合計	29,462	30,991	60,453	10,485	13,609	24,094	39.86	1,080	4.48



(2) 事業実績

① 就業実人員

平成 29 年度の就業実人員は、987 人である。前年度に比べ 8 人の増加になっている。

② 就業率

平成 29 年度の就業率は、91.4% であり、前年度に比べ 0.9% 減少しているが、香川県の就業率 85.2% に比べ 6.2% 上回っている。

③ 契約金額

平成 29 年度の契約金額は、651,716 千円であり、前年度比 1,886 千円減少している。

全体事業実施状況

単位：人

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
会員数（人）	1,085	1,093	1,089	1,062	1,080
就業実人員（人）	1,003	967	934	979	987
就業率（%）	92.1	88.5	85.8	92.3	91.4
就業延人数（人日）	101,755	103,131	106,753	121,465	117,356
契約件数（件）	8,106	8,359	8,528	8,714	8,534
契約金額（円）	521,787,484	543,640,798	563,070,730	670,583,232	651,715,826

（３） 補助事業

平成 28 年度から、善通寺市介護予防・日常生活総合事業の一環として、移動販売による買物サービス（ちょこっと号）を開始。29 年度には、到着までの間のふれあいの場を提供できるよう配慮したベンチを設置した。

事業内容は、家に引きこもりがちな高齢者に外に出てもらい、併せて安否確認と地域の人との交流を促進することを目的に、週 3 日間 32 箇所に移動販売サービスを実施している。また、買い物待ち合わせの場所 11 箇所に、22 基のベンチを設置した。

また、善通寺市訪問生活支援事業の委託を受け、要支援高齢者の在宅生活支援に、1 回 45 分程度会員を派遣し、身の回りの援助や見守りをおこなっている。



移動販売「ちょこっと号」事業風景

（４） 独自事業

高齢者交流サロン「仲善広場（なかよしひろば）」を平成 21 年から 23 年度に企画提案事業として実施し、以後、独自事業として継続して実施している。

内容は、広域内介護予防のための 30 人～ 40 人の参加高齢者を対象に、毎月 2 回ゲームや体操、民謡や切り絵、押し花など多彩なメニューで開催している。

会の運営は、会員がすべて携わっており、昼食には、会員が季節感のある定食を調理・提供している。参加者は 1 回 800 円負担。



仲善広場（なかよしひろば）では、様々な催しの後、会員手作りの季節感あふれる昼食を提供しています。

(5) ボランティア活動

独自ボランティア活動として毎月1回、6ヵ所の施設で5名～6名の会員が、施設入所者に20分～30分のわずかな時間そばに付き添い、マッサージでスキンシップやコミュニケーションを通じてリラクゼーションに導く「タッチの癒し」活動を実施している。

また、毎年シルバー普及啓発月間（10月）には、各センター会員による清掃ボランティアをおこなっている。

(6) 会員交流のための同好会活動

会員相互の交流の場として、里山登山同好会、にこにこ体操同好会、フラダンス同好会、折り紙同好会、ソーイング・リフォーム同好会、小物手芸同好会、旅行同好会、書道同好会の8同好会で約200人の会員が参加している。

また、同好会所属会員が、作品や活動状況を市民文化祭やセンター総会などで、展示・即売などを通して入会促進をおこなっている。



会員参加の同好会には、文化祭などの催事に参加して活動をPRしています。

(7) 事故発生状況

① 傷害事故の状況

平成29年度の傷害事故の発生件数は、7件と昨年と比べ4件減少している。うち、1件の死亡事故が発生している。作業の帰りの不慮の事故とはいえ、事故は一つ間違えば取りかえしのつかない事になる。全会員に、なお一層の安全管理を励行し、事故防止の周知を徹底した。

② 賠償責任事故の状況

平成29年度の賠償責任事故の発生件数は、5件と昨年より2件少なく、一昨年から連続して減少している。



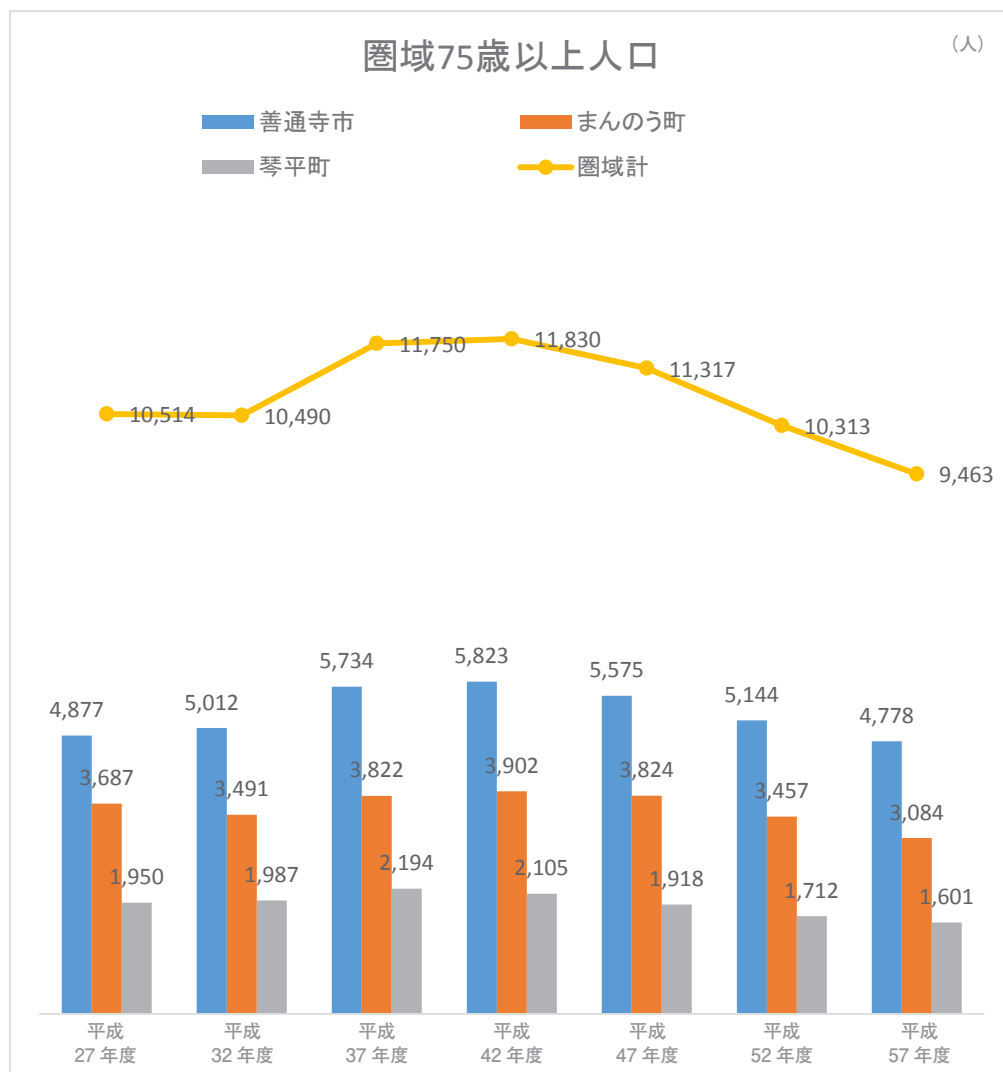
無事故作業を心掛けていますが、思わぬ対物事故も発生しています。

2. シルバー人材センター事業の課題と実施計画

(1) 会員の確保・拡大

シルバー人材センターは、地域の高齢者に地域に密着した仕事を提供し、高齢者が就労を通じて、地域社会の活力の維持に貢献できることを目指している。そのためには、地域の高齢者ができるだけ多くシルバー人材センターに加入する必要がある。

現在の雇用情勢の改善、景気の先行きについては上向きの傾向にあり、雇用・所得環境の改善が続く中で、本シルバー人材センターを取り巻く環境は全国的にも総じて好転しており、シルバー人材センターに対する期待感はかつてないほど高まりを見せている。全シ協「第2次会員100万人達成計画（平成30年～平成36年）」の数値目標に取り組むにあたり、全国的にも優良団体としての実績を維持している本シルバーセンターでは、広域1市2町の人口減少と高齢化率の増加がゆるやかに進む中、定年制の延長義務化、圏内75歳人口が平成42年度をピークに増加していく現状を捉え、この好機に着実に実績を重ねるため、会員の確保・拡大は最重点課題である。



一部の就業については、発注者から依頼があっても会員がいなかったため就業できず、苦情や叱責をいただくことが少なからず見受けられる。また、発注者と会員の就業希望とのミスマッチにより就業できない場合も多くある。これらは、基本的には希望就業会員が不足していることが原因である。今後、発注者からのあらゆる就業依頼に対し適切に対応するためにも、会員のさらなる拡大はセンターの根幹にかかわる重大な課題となっている。会員拡大においては、女性会員の増強に意を配る

必要があり、この観点に立った対策も急がれる。

シルバー人材センターという組織は、「元気な高齢者が地域に貢献し、就業することで、生きがいと健康を得られる」という良いイメージを持ってもらえるような転換が必要になる。

実施計画

- ①一人一会員の入会声掛け運動による口コミ宣伝を図ります。
- ②ホームページ・チラシ等による会員募集の広報活動を積極的に推進し、特に女性会員の入会の促進を図ります。
- ③各種イベントやボランティア活動、地域活動を通じた入会促進を図ります。
- ④出張入会説明会を新規開催します。
- ⑤センターでの入会説明会の内容を刷新することの検討を行います。
- ⑥退会を考えている会員に対し、引き続き在席してもらえるよう適切な就業を提供します。



(2) 就業機会の確保

現在、技能経験者の当センター会員の高齢化が大きな問題となっている。具体的には、平成25年3月における会員の平均年齢は70.7歳、70歳以上会員の占める割合は51.5%であったものが、平成30年3月にはそれぞれ72.4歳、63.3%とわずか5年で急激に高齢化が進行している。これは、高齢者雇用安定法の改正に伴い「継続雇用制度」の運用が開始された結果、会員入会時の年齢が上昇したことが大きな原因だと考えられる。今後とも会員の高齢化は、今まで以上のスピードで進行するものと想定され、さらに増え続ける高齢会員の就業先の確保が大きな課題となっている。

また、顧客からのニーズに応えるため、ニーズに合った人材の確保や育成が必要であり、職種がホワイトカラーの希望者、前職歴、を適時に把握することが重要であり、依頼主への就業開拓にも改善の必要が生じる。

また、適正就業の観点、財政運営面からもシルバー派遣事業・職業紹介事業の推進が喫緊の課題となっている。

実施計画

- ①就業開拓員の活性化、企業・事業所等訪問をおこない、就業先のニーズの把握をおこないます。
- ②高年齢会員の就業可能な分野及び団塊世代が魅力を感じる分野の開拓を図ります。
- ③新旧受注にかかわらず、シルバー派遣事業への移行、季節的な業務の職業紹介事業など就業形態の見直し、会員ニーズに合った適正な就業形態を推進します。
- ④個別面談や顧客・会員のデータベースを活用し、就業ミスマッチの解消に努めます。
- ⑤会員情報をホームページ、チラシ等で紹介し、需要強化を推進します。
- ⑥公共団体・地域づくり協議会等からの受注拡大を図ります。



看護学校の授業の模擬患者として依頼され、シルバーならではの仕事です。



剪定、草刈りなどの屋外作業のほか、女性の活躍できる職種でもがんばってられます。



(3) 安全・適正就業の確保

会員が安全に就業することは、何にも増して優先すべき事項であり、重要である。センターでは「事故ゼロ」を目指し、啓発や周知の徹底を図り安全就業に努めているが、現状は毎年数件の傷害事故・賠償事故が発生している。特に、高齢に伴う身体や判断力の低下による賠償事故や傷害事故が多くなっている。軽度の事故が大きな賠償事故になったり、やがて慣れによる軽率な判断が積み重なって、重篤事故につながるものが懸念される。

公益社団法人であるシルバー人材センターにとっては、コンプライアンス（法令遵守）は極めて重要である。高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく、臨時的・短期的またその他の軽易な就業について、さらなる法律の遵守が必要となっている。

また、請負・委任契約に適さない就業（発注者の従業員との混在や直接指揮命令を受ける等）についての早急な改善や長期就業会員の是正、未就業会員の解消についても課題となっている。

実施計画

- ①安全・適正就業委員会の組織的な取り組み強化により、再発防止策の検討と啓発・指導活動を推進します。
- ②会員の事故発生状況と検証事案を適時検証し、会員周知により事故減少に向けた安全意識の高揚を図ります。
- ③安全パトロール等の取り組み強化と安全保護具の着用の徹底等による安全対策を推進します。
- ④請負・委任契約になじまない就業や不適切な就業について、発注者への理解を求めながらシルバー派遣事業・職業紹介事業への切り替えを推進します。
- ⑤長期継続就業会員の交替について、適正就業基準を遵守するとともにワークシェアリングに取り組み、就業機会の均等化を図っていきます。
- ⑥未就業会員については、個々会員の事情を十分把握したうえ、状況に適した就業先を紹介します。



安全就業のための講習風景



技術の習得や基礎知識を身につけます



自動車学校での安全運転実習と座学講習



(4) 普及啓発の推進

シルバー人材センターへの理解と支援を得るためには、住民や顧客の方々に当センター“そのもの”を知ってもらうことが肝要である。そのために、ホームページでの情報発信を頻繁におこない、積極的に各種会合や講演会の講師として又会員の体験談などの情報の発信、パンフレット等の配布、各種イベントへの参加、シルバー普及啓発月刊(10月)や福祉・家事援助月間(1月)におけるボランティア活動、会報『仲善シルバーだより』の年2回発行等、シルバー事業の普及啓発を今後、内容を精査し、さらに効果的なPRについて検討が必要。

実施計画

- ①構成1市2町や各団体が主催するイベントに積極的に参加し、PRに努めます。
- ②市町広報・地域情報誌を活用し、住民の皆様へ情報発信を行うとともに、チラシ等により各事業所への情報発信を行います。
- ③ホームページを適時に更新し、動きのある最新のシルバー情報を発信します。
- ④各種イベントやボランティア活動、会員の口コミなどを通じてさらなる普及啓発活動を強化します。



年2回の会報「シルバーだより」の発行



毎月おこなわれる入会説明会

（５）子育て、高齢者支援事業の推進

急激に進む少子高齢化により、高齢者世帯や夫婦共働き世帯が増加する中、福祉・家事援助サービス事業や育児サービスの需要が増大している。

要支援者事業利用者の皆様のニーズに合わせたサービスの継続や、新たな子育てニーズの開拓には、特に女性会員を中心とした事業就業会員の確保が大きな課題となっている。また、善通寺市訪問生活支援事業で実施している、要支援高齢者の在宅支援など構成自治体や関係施設からの福祉政策の受託事業などについても積極的に働きかけ、適切な対応が急務となっている。

現在、元気なシルバー会員が30名程度の地域のお年寄りの生活を支える高齢者交流事業「仲善広場（なかよしひろば）」を月2回、介護予防・高齢者支援の善通寺市補助事業として「買い物サービス ちょこっと号」を週3日実施しているほか、社会参加活動として、毎月地域の※6施設入所者に、少しの時間そばに付き添い、静かに話に耳を傾け、撫で擦るマッサージでスキンシップを図る「タッチの癒し」のボランティア活動で、好評を得ている。

今後、核家族や共働きのご家庭になにかできないことがないか、子どもが大好きなシルバー会員が子育て知識と長年の経験を活かしながら、新たに子育て支援サービスの事業拡大の要素として検討の課題となっている。

シルバーの理念である「自主・自立」に合致するもので、就業の拡大、自主財源の確保の観点から重要な事業であるため、今後ともその推進・創設に努めなければならない。

また、会員相互の交流の場として、里山登山同好会、フラダンス同好会、折り紙同好会、ソーイング・リフォーム同好会、小物作り同好会、旅行同好会、書道同好会の7同好会で約200人の会員が参加している。

同好会活動での作品や活動状況を市文化祭やセンター総会などで披露・販売し、地域住民にもPRしている。

※仙遊荘、白百合荘、ねんりん荘、ねんりんの家、満濃荘、仲南荘

実施計画

- ①要支援高齢者の在宅支援などの公的施策を支える福祉・家事援助サービス事業の就業会員の確保と育成に努めます。
- ②子育てサービスに寄与できる公共施策や住民ニーズを把握し、新規取組を検討します。
- ③[女性力]を発揮したきめ細やかで親切的サービス提供に努め、事業拡大を目指します。
- ④構成1市2町の福祉施設、児童施設等との連携を強化し、地域に根ざした地域密着型サービスを推進します。
- ⑤頑張りすぎているお母さん、育児不安をお持ちのお母さんたちのために、子育てのお手伝いを通して、長年の経験と知識を生かせる支援ができないか検討します。
- ⑥趣味を通じて集う同好会活動、ボランティア活動の継続、発展により、地域にシルバー事業をPRします。



タッチの癒し講習会

(6) 事務局体制の充実・強化

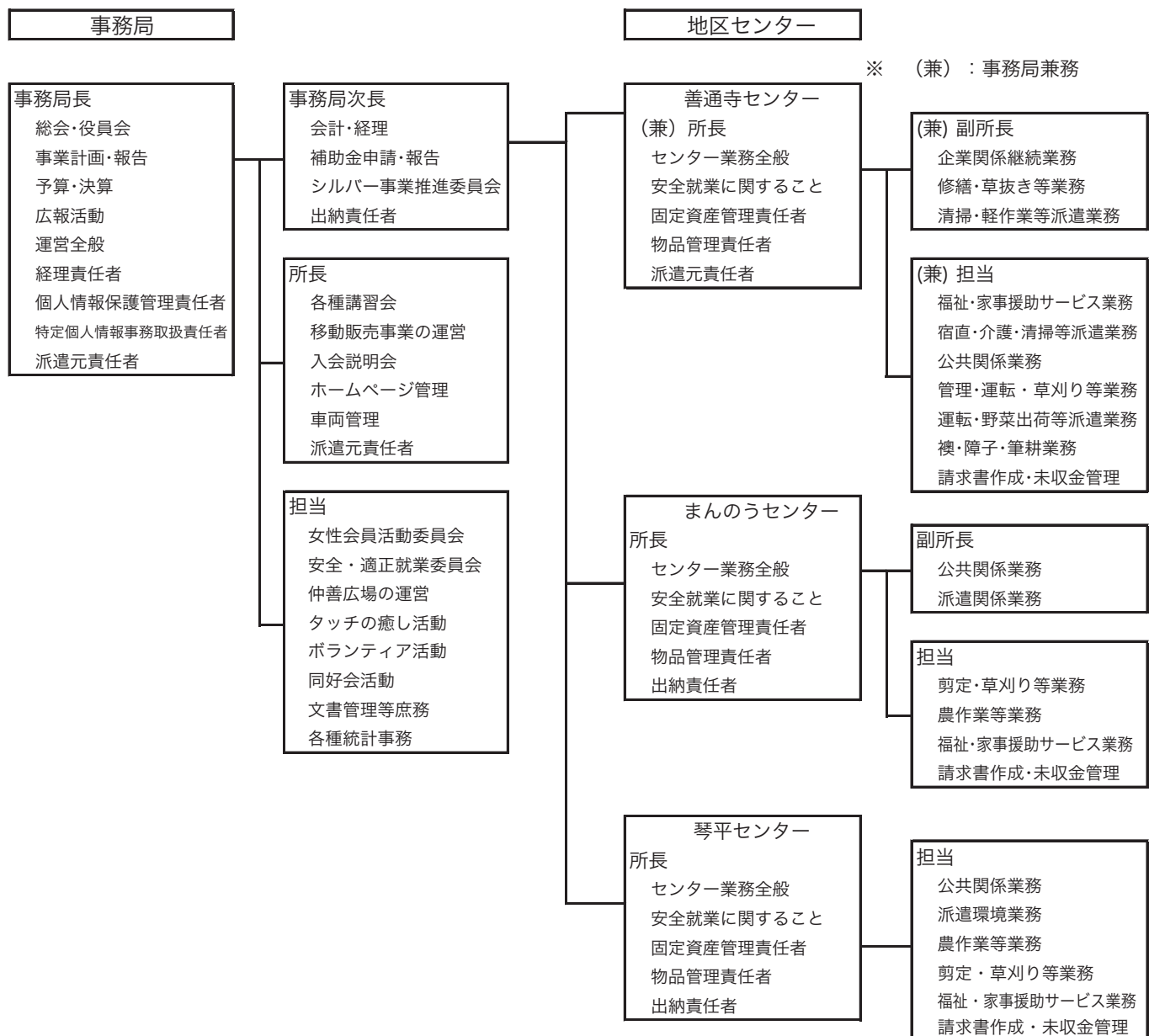
事務局はセンターの事務部門を総括し、構成自治体3か所の各センターの組織活動を円滑に運営するために、財政運営や事務処理、法人管理、就業需給調整、各事業の管理、会計処理など多岐にわたる業務を行っている。広域事務局の立場からの会員との調整や会員活動への支援についても大きな役割を果たしている。

今後、会員の増加や、事業拡大に伴い、事務量が増大・多様化・複雑化する中で、事務処理の簡素効率化と職員の資質の向上など事務局体制の整備を図る。

実施計画

- ①研修や月1回の職員会議等を通じて職員の資質の向上に努めます。
- ②会員への的確な情報発信に努め、会員と事務局との円滑な関係の構築を図ります。
- ③構成1市2町の各センターの業務体制の均衡化を図り、同じサービス水準で、明るく開かれた事務局体制を目指します。

事務局・善通寺地区センター組織図



V 参考資料

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」2015年より

●仲善広域各市町総人口推移

全体人口推移												単位：人	
地域	2015 年		2020 年		2025 年		2030 年		2035 年		2040 年		
	人口	指数	人口	指数	人口	指数	人口	指数	人口	指数	人口	指数	
善通寺市	32,927	100	31,809	96.6	30,579	92.9	29,281	88.9	28,005	85.1	26,650	80.9	
琴平町	9,186	100	8,408	91.5	7,653	83.3	6,909	75.2	6,199	67.5	5,520	60.1	
まんのう町	18,377	100	17,683	96.2	16,573	90.2	15,652	85.2	14,789	80.5	13,878	75.5	
合 計	60,490	100	57,900	95.7	54,805	90.6	51,842	85.7	48,993	81.0	46,048	76.1	

●60歳以上人口推移

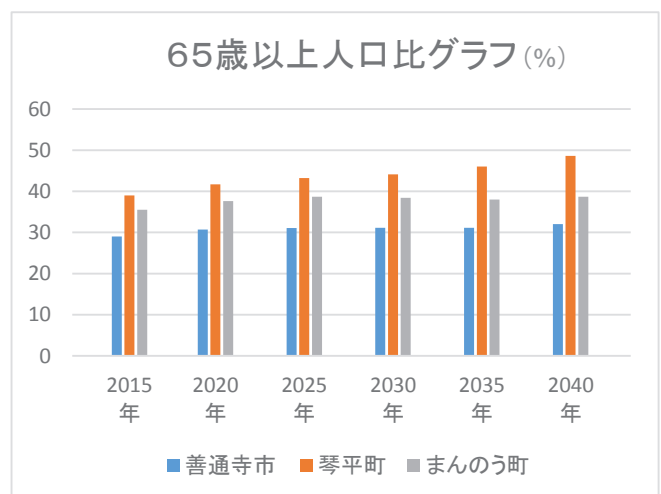
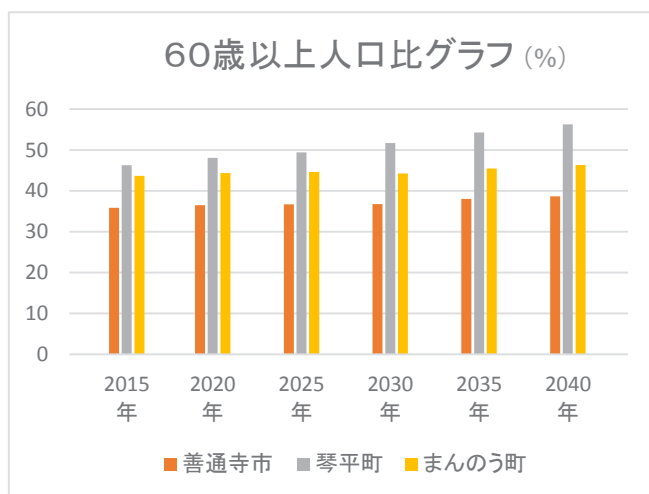
単位：人

60歳以上人口推移													
地域	2015 年		2020 年		2025 年		2030 年		2035 年		2040 年		
	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数	
普通寺市	11,799	100	11,598	98.3	11,218	95.1	10,763	91.2	10,644	90.2	10,307	87.4	
琴平町	4,247	100	4,043	95.2	3,781	89.0	3,569	84.0	3,365	79.2	3,104	73.1	
まんのう町	8,023	100	7,843	97.8	7,389	92.1	6,925	86.3	6,720	83.8	6,429	80.1	
合 計	24,069	100	23,484	97.6	22,388	93.0	21,257	88.3	20,729	86.1	19,840	82.4	

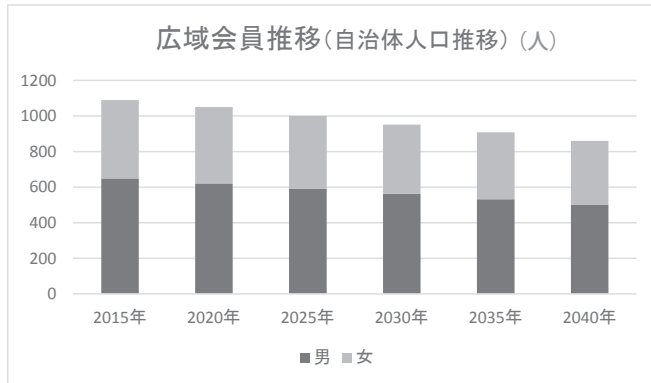
●60歳・65歳以上人口比グラフ

60歳以上人口比							単位：％	
地域	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年		
普通寺市	35.8	36.5	36.7	36.8	38.0	38.7		
琴平町	46.2	48.1	49.4	51.7	54.3	56.2		
まんのう町	43.7	44.4	44.6	44.2	45.4	46.3		

65歳以上人口比率							単位：％	
地域	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年		
普通寺市	29.0	30.7	31.1	31.1	31.1	32		
琴平町	39.0	41.7	43.2	44.1	46.0	48.6		
まんのう町	35.5	37.6	38.7	38.4	38.0	38.7		

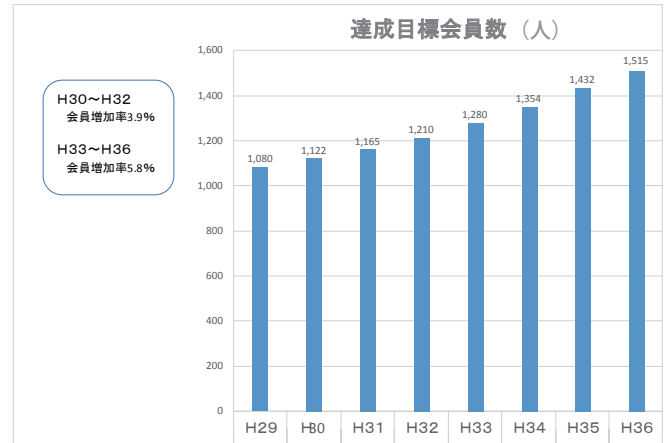


●自治体人口推移から見た会員動向グラフ



	普通寺市			琴平町			まんのう町			広域計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2015年	309	231	540	99	82	181	241	127	368	649	440	1,089
2020年	301	221	522	90	75	165	230	123	353	621	419	1,040
2025年	291	211	502	82	69	151	219	115	334	592	395	987
2030年	280	201	481	74	62	136	208	108	316	562	371	933
2035年	269	192	461	67	56	123	196	103	299	532	351	883
2040年	258	181	439	59	49	108	185	98	283	502	328	830

●全シ協「第2次会員 100 万人達成計画」による達成目標会員数



●過去 5 年間事業実績推移

・請負委任契約件数

単位：件

	普通寺	まんのう	琴平	計
平成 25 年度	4,187	2,500	1,419	8,106
平成 26 年度	4,374	2,520	1,465	8,359
平成 27 年度	4,373	2,539	1,616	8,528
平成 28 年度	4,104	2,382	1,595	8,081
平成 29 年度	3,922	2,314	1,505	7,741

・請負委任契約金額

単位：円

	普通寺	まんのう	琴平	計
平成 25 年度	243,070,158	191,890,093	86,827,233	521,787,484
平成 26 年度	257,877,301	201,552,433	84,211,064	543,640,798
平成 27 年度	261,865,798	203,570,021	97,634,911	563,070,730
平成 28 年度	263,561,196	194,354,274	99,738,104	557,653,574
平成 29 年度	236,129,187	189,189,761	91,776,015	517,094,963

・請負委任職群別契約金額

単位：円

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
技術群	12,280,283	14,998,780	16,078,535	350,795	270,284
技能群	81,915,229	87,929,970	97,290,176	101,476,459	94,382,371
事務整理群	4,262,937	3,942,861	4,346,566	7,871,490	1,806,584
管理群	80,713,446	84,467,633	91,343,257	91,453,752	98,002,993
折衝外交群	7,461,422	5,016,374	6,625,043	4,846,394	3,114,516
一般作業群	312,818,215	328,777,105	328,366,482	332,037,741	299,198,589
サービス群	22,335,952	18,508,075	19,020,671	19,616,943	20,319,626
合計	521,787,484	543,640,798	563,070,730	557,653,574	517,094,963

・派遣契約件数

単位：件

	善通寺	まんのう	琴平	計
平成 25 年度	151	227	0	378
平成 26 年度	249	157	0	406
平成 27 年度	254	131	0	385
平成 28 年度	332	294	7	633
平成 29 年度	436	323	34	793

・派遣契約金額

単位：円

	善通寺	まんのう	琴平	計
平成 25 年度	14,474,463	64,008,595	0	78,483,058
平成 26 年度	24,688,403	43,949,897	0	68,638,300
平成 27 年度	32,638,943	39,116,617	0	71,755,560
平成 28 年度	48,047,237	64,266,103	571,318	112,884,658
平成 29 年度	62,387,675	63,993,014	8,240,174	134,620,863

・派遣職群別契約金額

単位：円

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
技術群	262,630	1,662,235	894,478	15,790,098	15,599,190
技能群	4,084,175	1,827,984	1,192,320	1,162,512	993,600
事務整理群	0	0	0	0	0
管理群	6,035,110	7,054,069	6,588,291	8,080,612	7,538,540
折衝外交群	0	0	0	1,180,390	2,417,871
一般作業群	64,373,147	51,604,169	56,752,207	77,700,176	98,193,058
サービス群	3,727,996	6,489,843	6,328,264	8,970,870	9,878,604
合計	78,483,058	68,638,300	71,755,560	112,884,658	134,620,863

●事故発生状況

・傷害事故

単位：件

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
発生件数	10	11	5	11	7
性別	男	6	4	7	7
	女	5	1	4	0
就業	8	9	3	10	6
途上	2	2	2	1	※1
死亡・重篤（再掲）	0	0	0	0	※1

※死亡事故

・賠償責任事故

単位：件

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
発生件数	2	6	8	7	5
仕事の種類	草刈り	2	3	3	4
	水道管修理	1			
	剪定	1	1	2	
	片付け	1			
	車両運転	1	2	1	
	樹木消毒		1		
	不要品投棄		1	1	
	塗装				1
保険金支払額	74,770 円	526,148 円	1,243,306 円	345,838 円	255,705 円

公益社団法人 仲善広域シルバー人材センター中長期計画策定各委員会委員

女性会員活動委員会役員

(現役員)	柴坂 恵美子
酒井 恵美子	山内 民恵
山田 チエ子	岡 美桜子
合田 マキ子	齊藤 明美
齋藤 文代	(前役員)
竹田 初美	加藤 純子
宮田 恵美子	大西 壽美子
山本 貴子	松繁 陽子

シルバー事業推進委員会委員

(現役員)	川田 富士子
稲毛 俊正	石川 健一
毛利 正美	宮武 俊雄
竹田 初美	(前役員)
山下 寛治	渡辺 登茂子
岩井 始	崎川 昇
大西 久男	小野 孝司
山下 喜義	

安全・適正就業委員会委員

神原 利夫	川口 勝
永金 孝夫	堀家 宗俊
堀尾 陽子	佐々木 仁
細川 敏明	大西 邦彦
小井手 伸子	